

令和7年度入団式開催



令和7年度入団式は、44名でした。

令和7年4月3日(日)、消防本部で、令和7年度入団式を開催しました。消防本部の職員、消防団員、関係者など約100名が参加しました。

式典では、消防本部の職員から入団式を歓迎する言葉を述べ、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。

式典後、消防本部で懇話会を行いました。消防本部の職員から入団式を歓迎する言葉を述べ、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。



新入団員の皆様には、一刻も早く所属の分団に馴染んでいただき、市民の安心・安全を守っていただくことを期待しております。

令和7年度入団式は、消防本部で厳粛に行われ、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。

消防本部の職員から入団式を歓迎する言葉を述べ、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。



団長 西山孝和



第21号

2025年 7月発行

発行：大牟田市消防団 予防委員会

入団のきっかけは、大牟田市消防団の活動を見て、消防団員になりたいと思ったからです。

消防団員としての活動は、地域の安全を守るために行われます。

消防本部の職員から入団式を歓迎する言葉を述べ、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。



みなと分団 団員 川添 誠



大牟田市の安心、安全のため、皆さん、共に頑張ってくださいませ。



消防団に入団したきっかけは、将来の夢が救急士になるためです。

消防団員としての活動は、地域の安全を守るために行われます。

消防本部の職員から入団式を歓迎する言葉を述べ、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。



吉野分団 団員 南 咲羅

「災害対応力向上を目指し 水防情報共有訓練」を実施

令和7年6月1日(日)、令和2年7月豪雨災害を振り返り、同時多発的に発生する災害の情報収集や伝達、共有を行い、円滑な活動への対応力向上を目的とした訓練を実施しました。

市内全域の多くの消防団員が参加し、一大牟田市災害情報共有システム「水防」の活用や無線交信確認を行うなど災害時の対応要領について再確認しました。



副団長 境 啓志



本年度より副団長をつとめさせていただきます。情報共有訓練では、災害時の対応力向上を目的とした訓練を実施しました。

市内全域の多くの消防団員が参加し、一大牟田市災害情報共有システム「水防」の活用や無線交信確認を行うなど災害時の対応要領について再確認しました。

大牟田中央分団 分団長 田中涼子

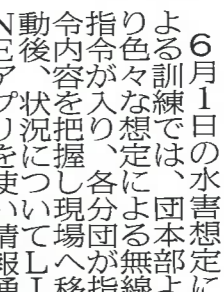


大牟田中央分団 田中涼子です。

令和7年度入団式は、消防本部で厳粛に行われ、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。

消防本部の職員から入団式を歓迎する言葉を述べ、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。

駿馬分団 分団長 瀬崎夏樹



6月1日の水害想定による訓練では、団本部より色んな想定による無指図での入団、各分団が指図なしで入団し、現場へ移動し、状況を確認し、情報共有を行い、災害時の対応力向上を目的とした訓練を実施しました。

市内全域の多くの消防団員が参加し、一大牟田市災害情報共有システム「水防」の活用や無線交信確認を行うなど災害時の対応要領について再確認しました。

筑後ブロック女性消防団員 研修会へ参加

女性分団 宮寄裕子 小柳育見

第3回筑後ブロック女性消防団員研修会へ参加しました。

研修会では、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。

消防本部の職員から入団式を歓迎する言葉を述べ、消防団員としての責務を述べ、入団式を厳粛に行いました。



緊急時に備える覚悟です。この活動を次世代にも繋いでいきたいです。

「消防団応援の店」を利用してみませんか？

大牟田市消防団は、団員とその家族を対象とした福利厚生事業を実施しています。

令和7年4月1日現在、市内には116の地域店舗と38の大型店舗が応援の店に登録されています。

引き続き、登録店の応募もお待ちしております。

登録店情報はこちらから

お店でカードを見せよう

ポイントをためよう

抽選会に応募しよう

お問合わせ先：消防本部総務課 消防団係 ☎0944-53-3522

山林火災防ぎよ訓練実施

令和7年3月2日(日)、大牟田市大字倉永の甘木山公園において、春の火災予防運動の一環として、山林火災を想定した防ぎよ訓練を実施しました。

倉永分団 分団長 今村圭児

3月2日(日)に、甘木山で署合同訓練が実施されました。団からは北部方面隊の参加となり、他の分団と協力し消火活動にあたりました。無線を活用しながら連携を取りながら訓練を行いました。ポンプの近くでは聞き取りにくかったり、無線連絡の対象者が分かりにくかったりして、スムーズに連絡が取れないことがありました。今回参加できなかった団員にも反省点を伝えて、火災現場に活かしていこうと思いを



上内分団 班長 上原雅弘

3月に甘木山で山林火災防ぎよ訓練が実施されました。上内分団は署隊ポンプ車より送水を受けました。倉永分団へ中継を担った訓練当日は当分団の参加人員が少なく、上下へのホース延長に時間がかかりスムーズな作業ができなかった事が課題点になりました。中継ポンプの操作や無線を使用した伝達などは問題なく行えたと思います。訓練参加後、改めて人員・他分団との意思疎通の大切さ、普段の訓練の大事さを痛感しました。今後、何事にも臨機応変に対応できるように訓練に励みたいと思います。



災害に備え、車輛・資器材 個人装備の点検実施!

出水期前の5月10日、18日にかけて、市内全消防団格納庫の備品及び車輛の点検を実施しました。これは、消防車両やポンプ、各種資器材の他、個人装備の確認など日頃からの管理状態も含めて点検を行うものです。災害発生時のいざという時のために日頃の備えは大事であり、しっかりと手入れ、管理されている状況が確認されました。

平原分団 分団長 菊池和広



年に一度、市からお預かりしている大事な備品の検査を受けるからと言ったりするだけでは綺麗に磨いたりするのには気が持たないから大事に扱います。また、年数や経験の浅い団員に備品の名前、扱い方を覚えてもらう良い機会だとも思います。また、今年度から分団長を務める事になり火災や災害に対する知識や対応力を今までより一層に身につけなければと思います。



「ハラスメント防止」 研修会開催

令和7年3月18日(火)、消防本部4階にて研修会を開催し、消防団員83名が参加しました。講師には、NPO法人ジェンダー研究所 倉富史枝様をお招きし、ハラスメントについて理解を深める有意義な研修会となりました。

高取分団 分団長 木村照芳

今回、大牟田市消防署でハラスメントの講習会に参加しました。ハラスメントには色々な種類のハラスメントがあります。無自覚でハラスメント的な言葉を言っていたかも知って思っています。今回のハラスメント講習会の内容をいかして消防団や組織などにしっかりとかけたいと思います。



高取分団 本部長 本村勝利

ハラスメントの種類が自分から知っている以上にいろいろなハラスメントがあることを知りました。また、ハラスメントという行為を加害者側の多くは、無自覚で言っているという点に、驚くと同時に、なるほどと気がつかされました。日々のコミュニケーションの中で相手の立場を尊重し自分の発言の言葉遣いに気を付けたいと思います。今回の研修会で学んだ事を

明治分団 副分団長 竜 丈光

今回初めてハラスメント講習を受けさせていただきました。まだまだ騒がれていることは知っていましたが、講師の話聞いていたら自分自身もいろいろな場面で加害者になりうるということを知りました。仕事の関係上男性が多いせいかわずかにならなければいか無頓着ません。これからもしっかり相手の事を考えながら対話できるように努力したいと思います。大変勉強になりました。

吉野分団 分団長 古賀哲士



今年度から、吉野分団で分団長を務めさせて頂く事になりました。古賀哲士と申します。宜しくお願いします。器具点検を、分団長になって初めて務めさせて頂きました。消防団として、円滑に消火活動をする為にも器具は重要な物です。器具点検を行う事により、分団長としての責任が一層増してきました。吉野分団分団長として団員と共に精進して行きたいです。

中友分団 分団長 石山邦夫



年に一度の備品検査が、令和7年5月の梅雨入り前に実施されました。使用する事が多い火災対応の資器材は管理できていない事が一部あり、防炎の資器材では一部不備な部分もあり、反省も含め、今後の活動には改善の気引き締め、定例で行っている毎月2回の機械手入れを行い、全ての資器材をいつでも安全に使えるように、日頃からの維持管理と訓練に努めていきたいと思えます。



講習会お疲れ様でした。どれもハラスメントに当たるのかという定義が抽象的で少々あいまいなように私は感じました。対人関係においては言ったもん勝ちといってもおかしくないくらいだと思います。一つの言葉だけで判断するのはなく、そこまで行きたい工程で第三者が判断するのはなく、もっと自分を主張できる人材教育や育成にも取り組みお互いを尊重して話し合える環境を作ってほしいと思います。

明治分団 部長 井上博司